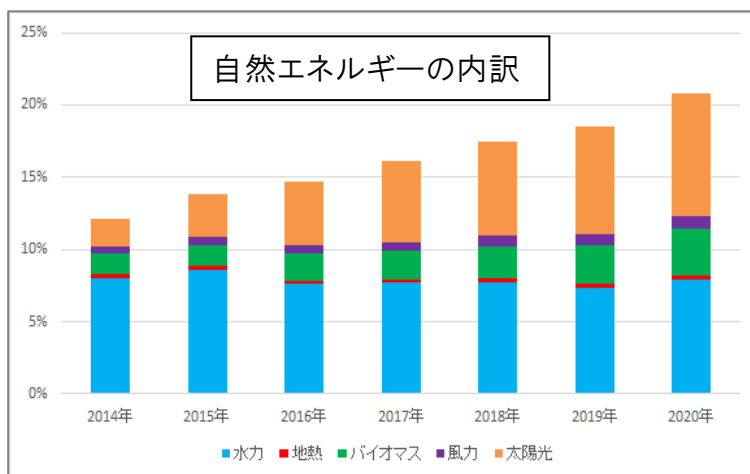


「世界のサステナブル（持続可能）と家庭科教育」

世界的に事業を展開する Google は、現在自社で使用するエネルギーを、100%再生可能エネルギーでまかなっています。先日、Google が、取引の条件に、再生可能エネルギー100%で事業展開していることを打ち出したのを聞いて驚きました。日本の全発電電力量に占める自然エネルギーは 20.8%で、まだまだ低い水準ですので、今後大変難しい局面に立つのではないかと危惧されます。世界はサステナブルな社会を目指し、「水」や「食料」「エネルギー」「物」の消費の在り方について考え直しています。近い将来「水」や「食料」を巡って争いが起きることも想定されており、これらは大変重要な課題であります。



新学習指導要領の小学校家庭編では、「C消費生活・環境」の内容が深く関わってくると思います。まず「消費生活」では、買い物の仕方一つとっても「買い物袋を持参すること」や「地産地消を意識すること」などが、環境問題と直結します。また「賞味期限、消費期限」の意味を正しく理解し自分の食生活を見直すこと等も、フードロス削減につながる一つです。適切な消費生活をするのが、環境にいい影響を与えるということに思考を広げたいものです。また「環境に配慮した生活」では、「物を大切に長く使うこと」や「食材や製作材料を無駄なく使う方法」、「作業における水や電気、ガスの使い方」なども考えられます。

このように正しい知識や技能が身に付き、それを活用しながら思考を深め、判断していく力を身に付けていくことが、未来を切り拓く力につながります。自分や家族の消費生活が、環境などに与える影響について、ぜひ対話的で深い学びを進め、持続可能な社会の構築と豊かな家庭生活の営みを実現できるよう、社会を生き抜く力を養っていきたいと思います。



小学校家庭科研究部 第1回研修会報告

令和3年5月26日（水）於：あいホール

講話「学習指導要領の具体的実践と評価」

静岡大学教育学部 小清水貴子准教授

学習指導要領に基づき、具体的な授業とそれに伴う評価について講話をいただきました。「B衣食住の生活」「冬のあったかエコライフを工夫しよう」の題材から、毎時間の授業の評価について、詳しく教えていただきました。また、私たち教員からの評価に対する疑問にも分かりやすく答えていただきました。家庭科では、生活をよりよくするにはどうしたらよいかという観点が重要であり、評価においてもそこに立ち返って考えることが大切であることを学ぶことができました。



連絡事項

① 第2回研修会 プチ実践を持参してください。

8月6日（火）の第2回研修会では、日頃の実践について交流します。充実した時間となるように、プチ実践の御準備、御持参をお願いします。詳細は、ミライムで御連絡いたします。

② 昨年度のプチ実践を、浜松市教育研究会 HP に掲載しました。

昨年度は夏の研修会が中止となり、実践を紹介し合う場をもつことができませんでした。そこで、作成していただいたプチ実践が見られるよう、「令和2年度実践報告」として、浜松市教育研究会 HP に掲載しました。ぜひ HP を閲覧していただけたらと思います。

③ 令和3年度 小学校家庭科研究部組織紹介

顧問校長	柳瀬 美穂（豊西小学校）	部長	鈴木 やよい（蒲小学校）
	山田 真代子（城北小学校）	副部長	米山 香奈（大瀬小学校）
顧問教頭	坪井 百合子（初生小学校）		河村 鮎美（浅間小学校）
			小田 真弓（引佐北部小学校）

【部長あいさつ】

昨年度に引き続き、小学校家庭科部の部長を務めさせていただくことになりました。本年度も、「よりよい生活を自ら創り出す子供の育成」をテーマとし、研修を進めていきます。評価の仕方やICTの活用など、昨年度の実践したことで明確になった課題や重点に焦点を当て、研修を進めていきたいと思っています。

研修会はもちろんのこと、ミライムを通じて本年度も家庭科主任の先生方と家庭科の学習について情報交換をし、研修を充実させていきたいと思っています。

1年間よろしくお願いします。

小学校家庭科部 部長 鈴木やよい

【編集後記】

今年度、小学校家庭科部の家庭科だより「まど」を担当させていただきます。「まど」を通して、各学校の家庭科が繋がり、授業づくりの一助となるよう努めていきたいと思っています。よろしくお願いします。

まど担当 副部長 小田 真弓